

2011年 神奈川県レフリー夏季強化研修合宿報告

本年度の県レフリー夏季強化研修合宿は、8月23日（火）～25日（木）に菅平エストにておこなわれました。参加者はレフリー、レフリーコーチあわせて30名でした。

8月23日の午前11時より開講式がおこなわれ、3日間の研修合宿がスタートしました。

午後は各グラウンドにおいて実技研修がおこなわれ、大学のゲーム24試合を担当しました。

夕食後は、「レフリーコーチからレフリーに期待すること」というテーマで伊藤レフリーコーチによる研修がおこなわれました。レフリーコーチとしてのスタンス、レフリーとして何を大切にしていくなか、レフリーとしての徳目についてなどの内容が盛り込まれており、あらためて基本の大切さを痛感するものでした。

2日目の8月24日は朝食後、「レフリングの基礎」というテーマで藤内レフリーによる研修がおこなわれ、基本事項の確認がおこなわれました。

この日は午前からも実技研修が入り、コーチ陣はできるだけ多くのレフリーをみるためにグラウンドからグラウンドへと移動の連続となりました。この日は28試合がありましたが、午前も午後も担当したレフリーもいました。

夕食後の研修は、最初に各種レフリー研修会の報告がありました。日本協会トップ、三地域、関東トップ、そしてB級認定と、その研修内容や講習内容について参加したレフリーからそれぞれ報告がおこなわれました。

その後は「チームがレフリーに期待すること」というテーマで、青山学院大学の梅月信吾コーチをお迎えし、進行役の三宅レフリーからの質問に答えていただくという形式での研修となりました。チームとしてさまざまな局面において、どのようなプレーを選択していくのか、またプレーの継続などをめぐっても貴重なお話をうかがうことができました。特に蹴り合いになったときに10mオフサイドが見落とされがちであるというご指摘や、攻撃の妨げにならないようなどにレフリーにいてほしいといった要望もだされました。最後に試合をやっていくなかで、レフリーとの「ちょっとしたコミュニケーションが大切」ということばがとても印象に残りました。

最終日の8月25日は午前中にレフリーコーチの立場から「本合宿のコーチング活動により見えたレフリングの課題」というテーマで研修がおこなわれました。複数のレフリーコーチからあげられた全体的な課題が提示されました。

閉講式では斎藤委員長から、公式戦に向けて頭を整理して臨んでほしい。そしてひとりでも多くの公認ができるように、そして若手はさらにそれを超えるつもりで頑張してほしい、という挨拶で全体的な研修は終了しました。

このあとの実技研修は24試合をおこない、各レフリーは帰途につきました。

なお、この日は別会場でC級の認定講習もおこなわれ、2名が認定されています。

（報告：加藤 善久）



参加者集合写真 (宿泊先 エスト前にて)